

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公表番号】特表2013-517674(P2013-517674A)
 【公表日】平成25年5月16日 (2013.5.16)
 【年通号数】公開・登録公報2013-024
 【出願番号】特願2012-548917(P2012-548917)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月13日 (2013.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クライアントノードにおいて、特定コンテンツの復号及び展開の決定をサポートする方法であって、

前記特定コンテンツについて予め定められた基準展開レートとは異なる、前記特定コンテンツについての少なくとも 1 つの展開レートに関連するレベル要求についての前記特定コンテンツに関する情報を取得 (602) し、

取得された前記情報に基づいて、いずれの展開レートがレベルについて前記クライアントノードによりサポートされるかを判断 (604) し、前記クライアントノードによりサポートされないレベルを要求する非基準展開レートにおける前記特定コンテンツの復号及び展開を前記クライアントノードに停止可能とさせることを特徴とする方法。

【請求項 2】

サポートされないレベルを要求するレートにおける前記特定コンテンツの復号及び展開の停止は、少なくとも

前記特定コンテンツを取得しないことの決定、

選択可能な展開レートの制限、

前記特定コンテンツの代替バージョンの選択 (610)、

前記特定コンテンツの代替バージョン／表現への切り替え (610)、

代替復号器の選択 (606)、

前記クライアントノードによりサポートされると判断された非基準展開レートにおける前記特定コンテンツの復号及び展開、
 のいずれかを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの展開レートは、前記特定コンテンツの予め定められた基準展開レートのうちの複数または一部であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

クライアントノード (801) において、特定コンテンツの復号及び展開の決定をサポートする装置 (800) であって、

前記特定コンテンツについての予め定められた基準展開レートとは異なる、前記特定コンテンツについての少なくとも1つの展開レートに関連するレベル要求についての前記特定コンテンツに関する情報を取得する取得手段（804）と、

取得された前記情報に基づいて、いずれの展開レートが、レベルについて前記クライアントノードによりサポートされるかを判断し、前記クライアントノードによりサポートされないレベルを要求する非基準展開レートにおける前記特定コンテンツの復号及び展開を前記クライアントノードに停止可能とさせる判断手段（808）と、を有することを特徴とする装置。

【請求項5】

予め定められた判断基準に従って、前記クライアントノードによりサポートされる前記非基準展開レートが許容可能か否かを判断し、該判断に従って操作を実行することを特徴とする請求項4に記載の装置。

【請求項6】

前記実行される操作は、少なくとも、

前記特定コンテンツを取得しないことの決定、

選択可能な展開レートの制限、

前記特定コンテンツの代替バージョンの選択、

前記特定コンテンツの代替バージョン／表現への切り替え、

前記特定コンテンツを復号する代替復号器の選択、

前記クライアントノードによりサポートされると判断された非基準展開レートにおける前記コンテンツの復号及び展開、のいずれかを含む

ことを特徴とする請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記少なくとも1つの展開レートは、前記特定コンテンツの予め定められた基準展開レートのうちの複数または一部であることを特徴とする請求項4乃至6のいずれか1項に記載の装置。

【請求項8】

サーバノードにおける、クライアントノードでの特定コンテンツの復号及び展開の決定をサポートする方法であって、

前記特定コンテンツについての予め定められた基準展開レートとは異なる、前記特定コンテンツについての少なくとも1つの展開レートに関連するレベル要求を判断（902）し、

少なくとも1つの展開レートについての情報と関連付けられたレベル要求とを前記クライアントノードに提供（904）し、要求レベルにおいて、いずれの展開レートが前記クライアントノードによりサポートされるかを判断し、前記クライアントノードによりサポートされないレベルを要求するレートにおける前記特定コンテンツの復号及び展開を停止することを前記クライアントノードに可能にさせることを特徴とする方法。

【請求項9】

前記情報は、ファイルフォーマット構造の一部として提供されることを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記情報は、メディア提示記述内に提供されることを特徴とする請求項8または9に記載の方法。

【請求項11】

前記情報は、操作が実行されるコンテンツに関することを特徴とする請求項8乃至10のいずれか1項に記載の方法。

【請求項12】

前記コンテンツにおいて実行される前記操作は、少なくとも

前記コンテンツのフレームの破棄、
前記コンテンツへのフレームの挿入、
のいずれかを含む
ことを特徴とする請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

サーバノード（1 0 0 1）における、クライアントノードでの特定コンテンツの復号及び展開の決定をサポートする装置（1 0 0 0）であって、

前記特定コンテンツについての予め定められた基準展開レートとは異なる、前記特定コンテンツについての少なくとも 1 つの展開レートに関連するレベル要求を判断する判断手段（1 0 0 4）と、

少なくとも 1 つの展開レートについての情報と関連付けられたレベル要求とを前記クライアントノードに提供し、要求レベルにおいて、いずれの展開レートが前記クライアントノードによりサポートされるか判断し、前記クライアントノードによりサポートされないレベルを要求するレートにおける前記特定コンテンツの復号及び展開を停止することを前記クライアントノードに可能とさせる提供手段（1 0 0 6）と、を有することを特徴とする装置。

【請求項 1 4】

ファイルフォーマット構造の一部として前記情報を提供することを特徴とする請求項 1 3 に記載の装置。

【請求項 1 5】

メディア提示記述内に提供することを特徴とする請求項 1 3 または 1 4 に記載の装置。

【請求項 1 6】

前記情報は、操作が実行されるコンテンツに関することを特徴とする請求項 1 3 乃至 1 5 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 1 7】

前記コンテンツにおいて実行される操作は、少なくとも、
前記コンテンツのフレームの破棄、
前記コンテンツへのフレームの挿入、
のいずれかを含むことを特徴とする請求項 1 6 に記載の装置。

【請求項 1 8】

請求項 4 乃至 6、及び 1 3 乃至 1 7 のいずれか 1 項に記載の装置において実行された場合に、該装置に請求項 1 乃至 3、7 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載の対応する手順を実行させる、コンピュータが読み取り可能なコードを含むコンピュータプログラム（1 1 1 0）。

【請求項 1 9】

請求項 1 8 に記載のコンピュータプログラムを含むことを特徴とする記録媒体（1 1 0 8）。